

授業の視点

- ① 「学び合い」に関すること 学習リーダーを中心に、生徒同士がかかわり合いながら取り組むことができる学習活動と座席の工夫
- ② 「小中連携」に関すること 「書くこと」を通して文構造の理解を深めるために、小学校外国語活動で慣れ親しんだ言語材料を用いた授業展開の工夫

常総市立水海道中学校 第3学年 組 英語科学習指導案

指導者 JTE (T1) 西尾 直美  
ALT (T2)

1 単元 Program 7 What Is the Most Important Thing to You? (SUNSHINE ENGLISH COURSE 3)

2 単元の目標

- 「聞くこと」「読むこと」の言語活動に、積極的に取り組もうとする。  
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- 主格の関係代名詞の知識を活用して、正しく文を書くことができる。(外国語表現の能力)
- 語句のまとまりに着目し、内容を正しく読み取ることができる。(外国語理解の能力)
- 主格の関係代名詞を用いた文の構造や、先行詞 **who** と **which** の用法のちがいを理解することができる。  
(言語や文化についての知識・理解)

3 学習指導の方針

本単元は、主格の関係代名詞を習得することをねらいとしている。人や物を後置で詳しく説明する文構造となっているため、1文が長くなる。その文の語句を、意味的なまとまりごとに区切る方法を身につけ、日本語とは異なる文構造を理解することが大切である。

<英語科学習に関する生徒の意識調査> (3年 組33人 9月3日実施)

1	もっとも苦手な教科は何ですか?	英語: 11人	国語: 4人	数学: 12人	社会: 2人	理科: 4人
2	英語の学習がむずかしい理由は何ですか。 <複数回答>	単語を覚えられない: 8人	文の意味を理解できない: 15人	文をつくれぬ(語順が分からない): 22人	文の読み方(発音)が分からない: 6人	長い文章を読めない: 25人
		文法が分からない: 19人	教師の説明が分からない: 4人			

<生徒の実態調査> ( )内は正答。【 】内は誤答例

1	不定詞の後置修飾の意味 (I made sandwiches <b>to sell</b> .)	正答: 15人	誤答: 12人	無答: 6人
2	関係代名詞 <b>who</b> の理解 (This is a boy <b>who</b> is from Japan.)	正答: 3人	誤答: 21人	【he】 無答: 9人

本学級の生徒は、穏やかに落ち着いて学習活動に取り組むことができる。一方で、上記の調査結果より、英語科学習に対して多くの生徒が苦手意識をもっていることが分かった。その理由として、「文の意味を理解できない」「(語順が分からず)文をつくることができない」等、英語独自の基本的な文構造を理解できていない生徒がいることも明らかになった。

本単元の学習においては、関係代名詞の文構造の理解に難しさを感じる生徒が多く生じることが予想される。この理解を促すためには、「読んだり」「書いたり」するような、文字を主体とする学習活動を中心に置くことが有効であると考えられる。その理由は、生徒が複雑だと感じる関係代名詞を用いた文構造について、視覚的に理解を促すことができるからである。さらに、このような実態をもつ生徒には、反復練習が可能となる学習課題を設定し、語句のまとまりに着目させる機会を増やすことを通して、本単元で学習する文構造の習熟を図りたい。そのためには、小学校外国語活動で慣れ親しんだ言語材料を用いること、また、英語科学習の際に設定している学習リーダーを中心に、生徒同士が相談し合いながら取り組めるような座席を工夫することが、本単元の目標に多くの生徒が到達することができる有効な方策であると考えられる。

4 学習計画および評価計画 (7時間扱い)

次	時	学習内容	評価規準	学習形態	評価の観点			
					関意	表現	理解	言語
1	1	関係代名詞 <b>who</b> を用いた表現を聞きとり、ゲームに取り組む。	関係代名詞 <b>who</b> の文構造を理解することができる。	個人・グループ	○			◎
	② 時	関係代名詞 <b>who</b> を用いて、友達を詳しく説明する文を正しく書く。	主格の関係代名詞の知識を活用して、正しく文を書くことができる。	個人・グループ		◎		○
	3	主格の関係代名詞を用いた英文を読み取る。	主格の関係代名詞を用いた文の構造や、先行詞 <b>who</b> と <b>which</b> の用法のちがいを理解することができる。	個人			◎	○
	4/5	開発途上国で活躍する人々の様子を読み取る。	語句のまとまりに着目し、内容を正しく読み取ることができる。	個人			◎	○

5 本時の学習

(1) 目標

主格の関係代名詞 **who** を用いて、級友について詳しく説明する文を正しく書いて表現することができる。

(2) 評価規準と指導の手立て

評価規準	十分満足できる状況(キーワード)	努力を要する生徒への手立て
・主格の関係代名詞 <b>who</b> を用いて、友達を詳しく説明する文を正しく書くことができる。 (表現の能力)	・正しい文章表現 ・複数の文章表現	・個々による英作文をつくる学習活動であるが、近くに配置した学習リーダーと教師による支援を行う。

(3) 準備・資料

ワークシート, シール, タイマー

(4) 展開

◎は視点①について, ★は視点②について

学習活動及び内容	指導上の留意点 (・) と評価の視点 (評)	
	JTE (T1)	ALT (T2)
<p>1 あいさつ及びウォームアップを行う。</p> <p>(1) あいさつ</p> <p>(2) ワンフレーズレッスン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活でよく使う表現を知り, 口頭練習を行う。</li> </ul> <p>2 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>関係代名詞 <b>who</b> を使って, 友達を詳しく説明しよう。</p> </div> <p>(1) 英文をワークシートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1人の友達につき, <b>who</b> を用いた文を2文以上つくって友達を説明する。その際, 友達の性格や趣味, 得意なことを説明する内容として考える。</li> <li>1人の友達を説明する文が完成したら, 教師を呼び, 正しい英文が書けたか確認してもらう。</li> <li>3人以上の友達を説明する。</li> </ul> <p>&lt;生徒がつくると思われる英文例&gt;</p> <p><span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 50px; height: 15px; vertical-align: middle;"></span> is a boy (girl) <b>who is</b> good at playing baseball.</p> <p><span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 50px; height: 15px; vertical-align: middle;"></span> is a boy (girl) <b>who can speak</b> English very well.</p> <p>(2) 級友がつくった英文を聞き, だれのことを説明しているか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ALT が読んだ英文から, 聞き取れた単語をつなぎ合わせて, 意味を想像する。</li> <li>一人で考えるのではなく, 周囲の級友と相談しながら答えを導き出し, 発表する。</li> </ul> <p>3 次時の学習課題を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>先行詞が「人以外」の時の関係代名詞は何か?</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的なあいさつに加えて, 日常生活でよく用いる表現の練習を通して, 英語科学習の雰囲気づくりをする。</li> <li>関係代名詞を用いた <b>JTE</b> と <b>ALT</b> の会話を聞き, 聞き取れたことについて賞賛し, 本時の授業の意欲づけを図る。</li> </ul> <p>・課題提示の際には, 前時の復習として <b>ALT</b> とオーラルイントロダクションをし, 関係代名詞 <b>who</b> の文構造を手短かに説明する。</p> <p>・生徒たちがつくった英文で, どの級友を説明しているかを当てる活動もすることを伝え, 学習意欲を高める。</p> <p>◎用法や活動方法の説明時にも, 生徒とのコミュニケーションを大切に, 意図的に時間を設けて生徒同士が教師の説明を確認し合う場面を設定する。</p> <p>◎学習リーダーを中心に, お互いに教え合っている生徒たちを積極的に賞賛する。</p> <p>・生徒のエラーに対して, 正しい英文になるように, 文法的フィードバックをして添削する。</p> <p>・生徒がつくった英文を紹介し賞賛するとともに, 他の生徒の学習活動の参考にさせる。</p> <p>★小学校外国語活動で学んだ表現を用いて文をつくらせることを伝え, 一緒に英文を考える。</p> <p>◎主格の関係代名詞 <b>who</b> を用いて, 級友について詳しく説明する文を正しく書いて表現することができる。 (観察・ワークシート)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>JTE</b> について, 関係代名詞を用いて例文を提示する。</li> <li>・<b>JTE</b> の説明に対して, 積極的にコミュニケーションを図ろうとしている生徒を賞賛する。</li> </ul> <p>・生徒の英文を読む。生徒が聞き取りにくい場合は, 読むスピードを変えたり, ジェスチャーを加えたりしながら, 生徒が楽しんで取り組めるよう工夫する。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英文をつくった生徒を紹介し, 賞賛する。</li> <li>・ALT が英文を読むことを伝え, 「聞きとり」のポイントを説明する。</li> </ul> <p>◎聞き取れた単語をヒントとしながら友達と一緒に答えを導き出すように助言する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次時で学習する内容の文構造は本時と同じであるが, <b>who</b> は使われないことを説明する。次時に向けて生徒が自主的に調べようとする意欲づけになるように, 質問形式で課題を伝える。</li> </ul>

Grade:      Class:      No:      Name: \_\_\_\_\_

**友達を紹介する文を、関係代名詞 who を使ってつくろう。(pp. 74-75)**

<英文例> ・ Hobbies ・ Club Activities ・ Age, birthday ・ Good Points ・ Favorite Characters etc.

<p>1) <input type="text"/> is our classmate who was born on January third.</p> <p>2) <input type="text"/> is our classmate who speaks English very well.</p>
--

<Your Classmate's Name 1>

- 1) .....
- .....
- 2) .....
- .....
- 3) .....
- .....

<Your Classmate's Name 2>

- 1) .....
- .....
- 2) .....
- .....
- 3) .....
- .....

<Your Classmate's Name 3>

1) .....

.....

2) .....

.....

3) .....

.....

<Your Classmate's Name 4>

1) .....

.....

2) .....

.....

3) .....

.....

<Your Classmate's Name 5>

1) .....

.....

2) .....

.....

3) .....

.....